

講座

大人気！！世界に一つだけの印をつくる「篆刻教室」

蔵持市民センター

9月5日、三枝堂分店の萩森さんを講師に迎え、「篆刻教室」を開催しました。

篆刻とは、石などの印材に文字を刻み、印章をつくる伝統的な芸術です。今回は、自分の名前や好きな文字を題材に、印のデザインから刻印までに挑戦しました。講師から篆書の特徴や印のデザイン、彫刻刀の使い方について説明を受けた後、いよいよ製作開始。印面に写された文字を慎重に彫り進めます。初めは「上手く彫れるかな」と緊張した様子も見られましたが、作業が進むにつれて、皆さん真剣な表情に。最後に朱肉をつけて紙に押すと、自分だけの印が完成しました。

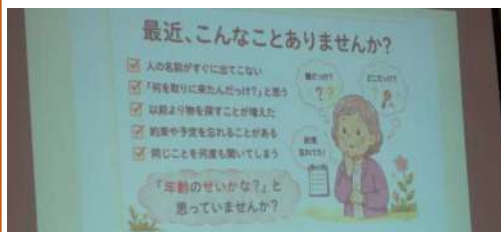
「初めての体験だったけれど楽しかった」「大切に使いたい」と、喜びの声が聞かれました。



健康

笑顔でつながる地域の居場所「オレンジカフェ」

まちじゅう元気プロジェクト



7日（月）、緑が丘の「ひだまり」で、オレンジカフェが開催されました。

今回は、地域の「まちの保健室」の大月さんから、認知症についてのお話や記憶のしくみについて学びました。身近なテーマだけに、参加者の皆さんも興味深そうに耳を傾けていました。

お話のあとは、社会福祉協議会の野木さんと一緒に「スクエアステップ」を体験。マスを踏まないように、決められたステップを考えながら足を動かします。頭と体を同時に使う運動に、皆さん楽しみながらチャレンジしました。

お話を聞いて、体を動かして、参加者同士でおしゃべりを楽しんで。会場には自然と笑顔が広がり、和やかな時間となりました。

授業

実りの秋！雨にも負けず！蔵小5年生、稲刈り体験

蔵持小学校

7日（月）、蔵持小学校5年生が、稲刈りを体験しました。

あいにくの雨となりましたが、かっぱを着て田んぼへ。春の田植えから一年かけて育ててきた稲は、黄金色に実り、頭を垂れています。

「お米のおじさん」と親しまれている坪田さんをはじめとする地域の方々の指導のもと、子どもたちは鎌を手に、一株ずつ丁寧に稲を刈り取りました。雨の中でも、友だちと声をかけ合いながら作業を進めます。

田んぼのそばでは、子どもたちが自分たちでつくった案山子も、収穫の様子を見守っていました。

田植えをして、育っていく様子を見守り、そして迎えた稲刈り。自分たちで育てたお米を収穫する喜びを、体いっぱいに感じる体験となりました。

